【会報 第636号】
令和5年11月4日

特定非営利活動法人　草加市カヌー協会

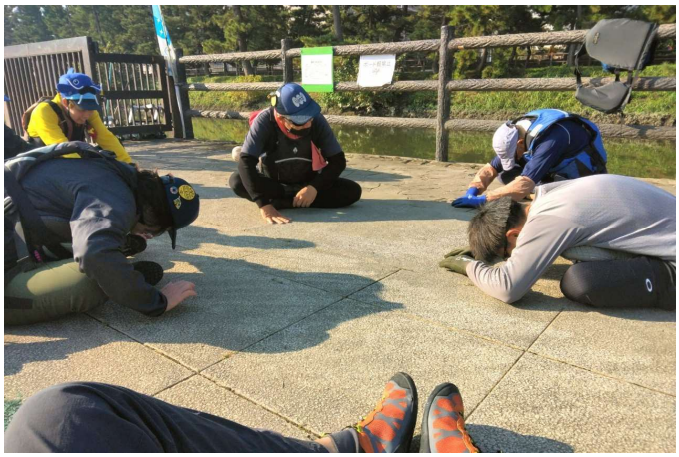
草加パドラーズ

★草加パドラーズ事務局　info@soka-paddlers.com

「沈」から見えてきた岸辺

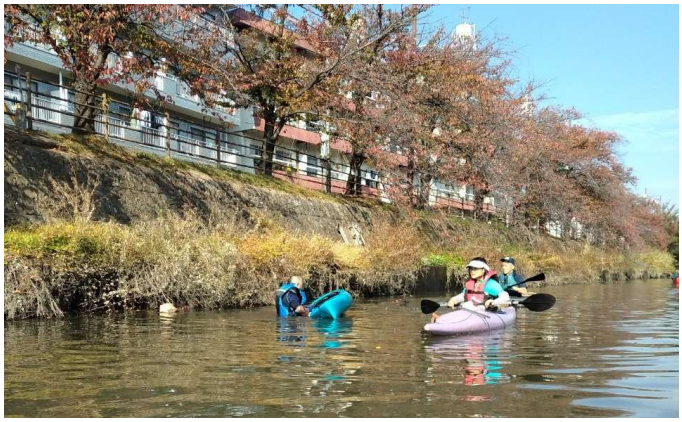
2023年11月4日（土）晴れ　気温15℃、水温18℃
【目的地】蒲生
【参加者】浅井　石田(健)　磯部　大原　遠藤　木下　吉良　澁谷
（計8名　あいうえお順）
【回収したごみ】30L袋4袋 45L袋2袋　枯れ木2m　1本 1.5本
材木50cm3本 ソファー1個 ブルーシート1個

今週は最高気温が25℃近くの日が続いていたため、本日の水温も18℃と、この時期としては高い水温でした。
厳冬期の1月、2月になると水温が5～6℃くらいまで低下します。
今日は8:00の時点で気温が16℃、水温19度で、本格的な秋の到来を、秋風に感じながらの漕ぎ出しとなりました。
水温が低い時期にカヌー等が転覆して、水の中に投げ出された場合は低体温症等になる危険性をはらんでいます。



入念なストレッチ

寒い時期にさしかかっていくこの時期、入念なストレッチをしてから活動を開始しました。
カヌー等が転覆することを「沈(ちん)」といい、沈したカヌー等から脱出することを「沈脱」といいますが、気をつけていてもその「沈」は起こってしまいます。



「沈」をしてしまった

本日、浮遊ゴミを取ろうとした時に、コンクリート護岸から突き出していた草木にひっかかってバランスを崩し、「沈」をしてしまったメンバーは、活動前に入念なストレッチをおこない、水温18℃と比較的高かったこともあり、大事には至りませんでしたが、ライフジャケットを着用していたとしても、ヒヤリとする出来事です。

コンクリートの護岸にひび

川に落ちても、岸から上がれるように護岸に設置されているステップの場所の再確認を改めて行いました。
コンクリートの護岸に接する草木の伐採・根切り等を適切に行うことは、護岸を守る上で重要ですが、草木の根の影響でコンクリートの護岸にひびが入っている箇所も見受けられました。

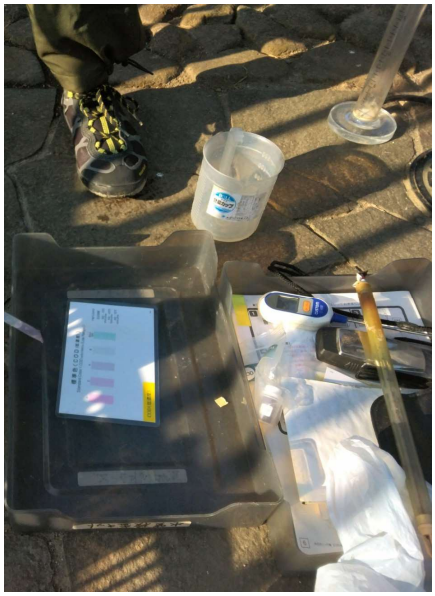
改めて護岸に目を向けるきっかけ

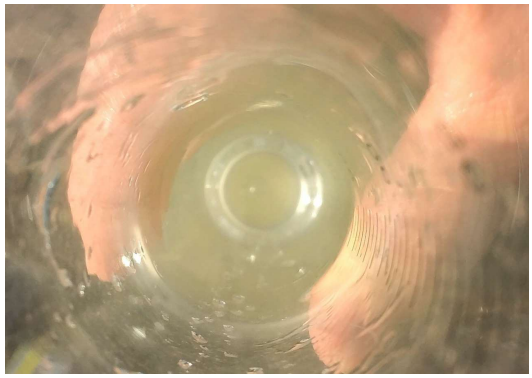
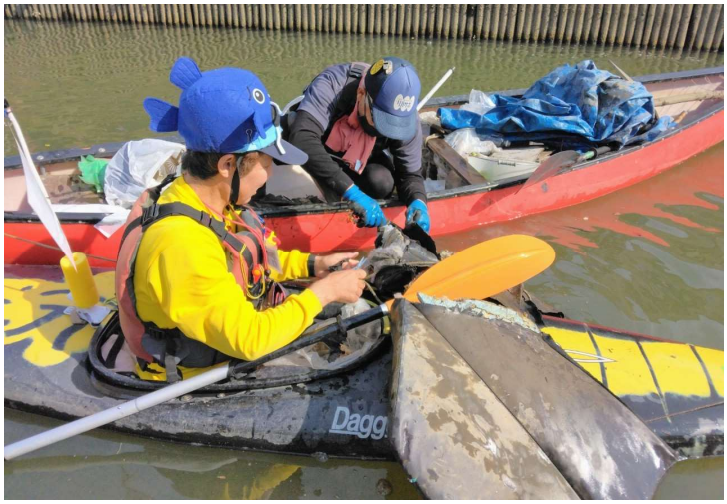
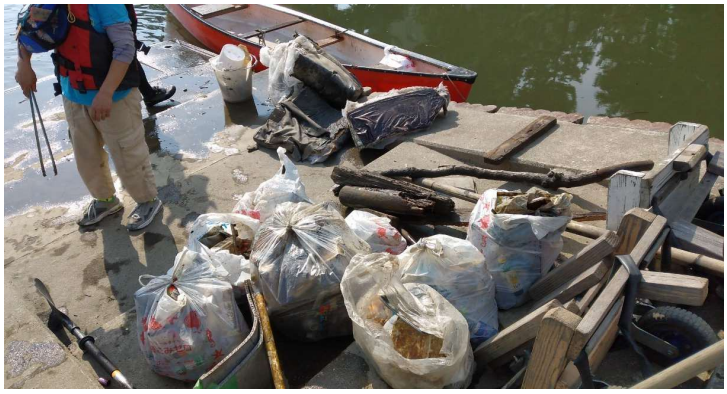
こういった護岸の草木は、台風などで増水した時は、浮遊ゴミが草木に引っかかり、コンクリートに高負荷をかけることにも繋がります。
今回の「沈」は、改めて護岸に目を向けるきっかけとなりました。

なお、「沈脱練習とライフジャケット」については、会報613号(令和5年9月20発行)に掲載しています。

(遠藤記)

綾瀬川の水質検査



遠藤会員は、故中島事務局長が一生懸命やっていた綾瀬川の水質検査や透明度測定を、引き継いでやってくれています。

皆で応援していきましょう。